

2021年度教育研究活動報告用紙(様式9(2021))

氏名	阿南 寿美子	職名	准教授	学位	修士(教育学)
----	--------	----	-----	----	---------

研究分野	研究内容のキーワード
幼児心理 幼児教育 保育者養成	社会的能力の発達 規範意識 いざこざ 保育観 子どもの学び 保育カンファレンス 保育記録

研究課題
<p>幼児期の対人交渉場面において、乳幼児が規範意識や対人関係構築などの社会的能力をどのように獲得していくのかについて考察する。子どもの遊びの中における学び(育ち)の捉え方について考察する。</p> <p>保育者養成校の学生が、2年間の学生生活を通してどのように保育者として保育観や援助観が育まれて行くのかを考察する。</p> <p>保育の質を向上するための保育カンファレンスのあり方について考察する。</p>

担当授業科目
<p>学校法人西南女学院 西南女学院大学短期大学部 保育科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の心理学(前期)(1年生) ・保育内容「言葉」(後期)(1年生) ・こどもの発達理解とあそび(複数担当教員)(前期)(2年生) ・こどもの理解と援助(前期)(2年生) ・教育実習指導(複数担当教員)(2年間通年)(1年生、2年生) ・教育実習Ⅰ(複数担当教員)(通年・学外)(1年生) ・教育実習Ⅱ(複数担当教員)(前期・学外)(2年生) ・教育実習Ⅲ(複数担当教員)(後期・学外)(2年生) ・保育・教職実践演習(幼稚園)(複数担当教員)(後期)(2年生) ・こども学基礎演習(通年)(1年生) ・こども学特別演習(通年)(2年生) <p>学校法人扇城学園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心理(前期)(1年生)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【保育の心理学】【子どもの心理】</p> <p>「保育の心理学」では子どもの発達の理解を目的として講義を中心に授業を展開した。その際、スライド等を使用し視覚的に講座内容を理解できるように配慮するとともに、学生のこれまでの保育体験や自身を振り返ることによって、具体的に場面を想起することができるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【こどもの発達理解とあそび】</p> <p>共同担当教員の演習で乳幼児の「遊び」を実際に体験し、感じたことを講座ごとに記録・振り返りを行った上で、指導案の作成指導を行った。「遊び」に関しては、現役の幼稚園園長により、集団遊びや身近な素材を使った遊び、ルールのある遊び、わらべうた遊びなど子どもの発達や遊びの展開方法を中心に授業を進めてもらい、それを受けて講義の中で再度、遊びの留意点や子どもへの配慮などについて学生と考察しながら、指導案を作成する中で、実践に向けての取り組みを行った。</p>

<p>授業科目名【保育内容「言葉」】</p> <p>幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基にして、乳幼児期の言葉の発達や保育者の援助についての理解が深められるように配慮した。また、言葉の発達を促す児童文化財についての解説を行ったうえで、絵本・紙芝居・ペープサートなどの実践を行いながら、実際の保育において実践できるような取り組みを行った。</p>
<p>授業科目名【こども学基礎演習】</p> <p>保育に関する基礎的理解を深められるように、壁面構成やカプラ制作、万華鏡製作、保育科えほんのへやおはなし会などの取り組みを行った。前期は特に学生生活に慣れること、他者と協同する力やコミュニケーション能力を高められることを目標に個別面談を実施し。また、話し合いでは教員も積極的発言を行いながら学生間の仲が深められるように配慮した。後期は、ゼミ長・副ゼミ長を中心に学生が中心となって話し合いを行い、学生自らが考え、作り上げられるように教員は主に学生の活動を見守りながら進められるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【こども学特別演習】</p> <p>保育に関する実践的スキルを高められるように、ゼミ活動を展開した。具体的には、保育科えほんのへや及び喜久屋書店（セントシティ7階）における“おはなし会”の実施、身近な素材（玉ねぎの皮）や染料を使用してのハンカチ染めやTシャツ染め、壁面構成、キャンドル製作などである。準備を含めて学生を中心に進めることで、協同性や責任を持った行動ができるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【保育・教職実践演習（幼稚園）】</p> <p>様々な角度から保育をとらえる視点が育まれるように、現場保育者の実践事例検討を行った。また、模擬保育では、これまで授業や実習を通して学んだことを活かしながら、2人1組で指導計画を作成し、準備・実践までを行った。子ども役は保育者が要求する年齢の子どもを演じるために、子どもの姿を表現することが必要になる。観察者は客観的に保育全体を観ることが必要になる。これらを通して、学生自に保育者としての意識が高まるように配慮した。</p>
<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>事後の指導において個人指導として個別面談、全体指導として報告会を行った。それにより他者の学びを自己と比較することによって個人の学びをより深め、課題を見出し次回につなげることができるようにした。また、事前指導においては教材発表の時間を設け、子どもたちへの提示の仕方等も含めての指導を行った。実習前の設定保育に関する指導講座を増やし、実習時に保育者の援助への捉え方が主体的になるように配慮した。</p> <p>報告会は1、2年生合同で行い、2年生よるスライドを用いた発表を中心に学生同士の学び合いがなされるよう取り組みを行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本保育学会	会員	2012年～（現在に至る）
日本保育者養成教育学会	会員	2018年～（現在に至る）
日本乳幼児教育学会	会員	2018年～（現在に至る）

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書） 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典	共著	2021年6月	ミネルヴァ書房	子ども、保育、教育、家庭、福祉に関連する用語のうち、2017年に告示された幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
				育・保育要領に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のうち、「自立心」、「協同性」(P357)についての解説を行った。
(学術論文) 1. 幼児期のあそびの中に見られる学び～子どもの育ちを意識した実習生の働きかけ～	共著	2022年3月	福岡女学院大学紀要 人間科学部第23号	保育者養成校学生が実習において、「あそび」の中にもどのような子どもの学びが含まれているのかを明らかにするとともに、保育者として「子どもの育ちを意識した働きかけ」とはどのようなものか考察した。その結果、実習生は、子どもが積極的に遊ぶことができるように見守りながら、必要に応じて介入していること、遊びの特性に応じて、関わり方に配慮していることが分かった。また、「あそび」には、実習生なりの意図を持ちながら関わっていることが示唆された。 松尾裕美・阿南寿美子
(翻訳)				
(学会発表) 1. 保育者養成における実習日誌に関する考察～保育職と他福祉系対人援助専門職との比較	共著	2021年5月	日本保育学会第74回大会(ポスター発表)	保育実習で学生が作成する実習日誌については、時系列型の日誌が中心となっているが、現在、様々な新しい様式への提案がされている。本研究では保育職と近接領域にある社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の実習日誌と比較することによって、実習の質を高める記録のあり方を検討した。その結果、時系列を中心とした内容に加えて、他職種に見られるエコマップ・ケースレポートのような子の理解や援助方法の理解につながる様式も必要ではないかという気づきを得ることができた。 阿南寿美子・脇信明・上原真幸・金子幸・末嵩雅美・藤本朋美・古林ゆり

外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者()内は学外者	交付決定額 (単位:円)
外部資金(科学研究費補助金等)導入状況(本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備考

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
<p>九州保育者団体合同研究集会</p> <p>北九州市児童福祉事業第三者評価事業</p> <p>NPO 法人あゆみの森共同保育園</p> <p>社会福祉法人喜久茂会（ふたば保育園）</p> <p>北九州市社会福祉協議会キャリアアップ研修会</p> <p>北九州市児童福祉事業第三者評価事業フォローアップ研修会（地域型保育事業所）</p>	<p>北九州部会副委員長 分科会運営委員 第 50 回福岡集会副実行委員長</p> <p>専門委員</p> <p>第三者委員 評議員</p> <p>講師</p> <p>講師</p>	<p>2012 年 4 月～現在に至る</p> <p>2016 年～現在に至る</p> <p>2019 年～現在に至る</p> <p>2016 年 4 月～現在に至る</p> <p>2018 年 1 月～現在に至る</p> <p>2021 年 6 月～現在に至る</p> <p>2021 年 9 月 15 日</p> <p>2022 年 1 月 21 日</p>
<p>学 内 に お け る 活 動 等 （役職、委員、学生支援など）</p>		
<p>教務委員会 副委員長（2020 年 4 月～現在に至る）</p> <p>入学試験会議委員（2014 年 4 月～現在に至る）</p> <p>西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園運営委員（2016 年 4 月～現在に至る）</p> <p>短期大学部第三者評価 ALO（2016 年～現在に至る）</p> <p>認定絵本士資格講座責任者（2018 年～）</p> <p>2021 年度ガイダンス等（2 回） 他</p>		